

国語基礎 I		(選択 2 単位) 1 年前期		齋藤安輝、中川明日佳*
授業テーマ・内容 漢字、語彙力、文法など、文章表現に必要な国語力をつけるために基礎から復習する。 また、文章作成におけるコミュニケーション能力の向上を目指し、「国語基礎Ⅱ」の「話す技術」に応用できるようにする。 毎回演習問題を課すので、積極的な受講態度が要求される。				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連 常用漢字の読み書き。 正しい接続詞の使用。 正しい係り受けの文が書ける。				
成績評価の方法・評価基準		テキスト		
期末試験	－%	「国語演習ノート」漢字・語句	中部日本教育文化会	
中間試験	－%	「文章トレーニングノート」	第一学習社	
小テスト	30%	参考書		
レポート	－%			
演習課題	40%			
平常点	30%			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック 随時課題を提出させ、添削・採点の上、返却・指導する。				
履修条件 本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のものなので、必ず前期後期通年で履修すること。		備考 毎回国語辞典を携行すること。		
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第 1 週	図書館ガイダンス	資料収集と図書館利用	予)図書館の位置を確認しておく(2 時間) 復)図書館の本を借りてみる(2 時間)	
第 2 週	図書館学習 (1)	新聞の輪読	予)シラバスを読んでおく(2 時間) 復)自宅や図書館で新聞に目を通す(2 時間)	
第 3 週	図書館学習 (2)	新聞各紙の比較と考察 (1)	予)その日のニュースを見ておく(2 時間) 復)プリントの整理と確認(2 時間)	
第 4 週	図書館学習 (3)	新聞各紙の比較と考察 (2)	予)その日のニュースを見ておく(2 時間) 復)プリントの整理と確認(2 時間)	
第 5 週	文章表現とは	正しい文字・正しい表記	予)トレーニングノート P2 を読んでおく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 6 週	主述の呼応・副詞の呼応	文章の中の呼応関係	予)トレーニングノート P10 を読んでおく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 7 週	適切な表現とは	話しことば、呼応関係に関する実践	予)これまでの復習(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 8 週	用字法・句読法	文章のリライト	予)トレーニングノート P26・27 を読んでおく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 9 週	小テスト (1)	適切な文章表現に関するテスト	予)試験範囲の復習(3 時間) 復)試験答案の検討(1 時間)	
第 10 週	文章表現実践 (1)	課題に即した題材選び	予)トレーニングノート P32～35 下段「考え方」を読んでおく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 11 週	文章表現実践 (2)	課題に即した結論の述べ方	予)トレーニングノート P36～39 下段「考え方」を読んでおく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 12 週	文章表現実践 (3)	文章の内容・表現についての推敲	予)これまでの復習(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 13 週	自己アピール (1)	「現在の自分」のアピール	予)「熱心に取り組んだこと」について考えておく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 14 週	自己アピール (2)	「これからの自分」のアピール	予)「自分に期待すること」について考えておく(2 時間) 復)ノートの整理と確認(2 時間)	
第 15 週	小テスト (2)	文章の内容・表現に関するテスト	予)試験範囲の復習(3 時間) 復)試験答案の検討(1 時間)	

国語基礎Ⅱ		(選択2単位) 1年後期		齋藤安輝・中川明日佳*
授業テーマ・内容				
<p>前期の「国語基礎Ⅰ」に続き、さらに日本語表現の基礎力をつける。前期は「書く」ことが中心であったが、後期は特に、就職活動に直結する「聞く・話す」ことを中心に学び、グループワークのトレーニングを行う。</p> <p>毎回実際に、書いたり、話したりする演習を課すので、積極的な受講態度が要求される。</p>				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連				
<p>正しく「話す」ためにはまず、正しく「聞く」ことである。</p> <p>グループワークを通じて話し合う技術を習得する。</p> <p>簡単な敬語が使える。</p> <p>正しい手紙が書ける。</p>				
成績評価の方法・評価基準			テキスト	
期末試験	－%		「さりげなく使う敬意表現」	中部日本教育文化会
中間試験	－%		「国語演習ノート」漢字・語句	中部日本教育文化会
小テスト	30%			
レポート	－%			
演習課題	40%			
平常点	30%			
参考書				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック				
随時課題を提出させ、添削・採点の上、返却・指導する。				
履修条件			備考	
本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のものなので、必ず前期後期通年で履修すること。			毎回国語辞典を携行すること。	
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	図書館ガイダンス	インターネットと図書館利用	予) CIT ネットへのログイン方法を確認しておく(2時間) 復) 図書館にログインしてみる(2時間)	
第2週	聞くことと話すこと	グループワークとは	予) シラバスを読んでおく(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第3週	話し合う技術	グループワークの実践	予) プリントの見直し(2時間) 復) 話し合った内容についてもう一度考えてみる(2時間)	
第4週	図書館学習 (1)	辞書の種類について	予) 自宅にある辞書について調べておく(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第5週	図書館学習 (2)	国語辞典とは	予) 図書館の辞書の位置を確認しておく(2時間) 復) もう一度自分で引いてみる(2時間)	
第6週	図書館学習 (3)	漢和辞典とは	予) 図書館の辞書の位置を確認しておく(2時間) 復) もう一度自分で引いてみる(2時間)	
第7週	図書館学習 (4)	新語の作成	予) 新語について考えてくる(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第8週	図書館学習 (5)	新語についてのグループワーク	予) プリントの見直し(2時間) 復) 話し合った内容についてもう一度考えてみる(2時間)	
第9週	敬語法(1)	敬語の種類について	予) 敬語の使い分けについて考える(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第10週	敬語法(2)	尊敬語とは	予) 尊敬語について考える(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第11週	敬語法(3)	謙譲語とは	予) 謙譲語について考える(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第12週	敬語法(4)	丁寧語・美化語とは	予) 丁寧語・美化語について考える(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第13週	手紙の書き方 (1)	手紙の書き方を学ぶ	予) 手紙と葉書の違いについて考えてみる(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第14週	手紙の書き方 (2)	手紙の実践	予) 授業日に合う時候の挨拶文を考えてくる(2時間) 復) プリントの整理と確認(2時間)	
第15週	小テスト	敬語・手紙文のテスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)	

日本語表現法		(選択2単位) 1年前期		齋藤安輝
授業テーマ・内容				
<p>「国語」ではなく世界の言語のひとつとしての「日本語」の視点を養うために、他言語と比較しての日本語の特徴を、構造・語順・文法や語彙などの面から考える。</p> <p>その上で主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法を学ぶ。</p> <p>また、社会生活に必要な不可欠な現代敬語を、口語表現中心に修得し、文章表現に応用する。</p>				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連				
<p>グローバルな視野に立って他言語と比較することで、改めて普段使っている日本語を認識する。</p> <p>基礎的な敬語法を理解し、正しく使える。</p>				
成績評価の方法・評価基準			テキスト	
期末試験	70%		随時プリント配布	
中間試験	—%			
小テスト	—%			
レポート	—%			
演習課題	—%			
平常点	30%			
参考書				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック				
提出された課題は、添削・採点の上、返却・指導する。				
履修条件			備考	
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	図書館ガイダンス	資料収集と図書館利用	予) 図書館の位置を確認しておく(2時間) 復) 図書館で本を借りてみる(2時間)	
第2週	言語とは	人間にとって言語とは?	予) シラバスを読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第3週	日本語の特色 (1) 世界の言語	世界の言語の現状	予) 世界には言語はいくつあるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第4週	日本語の特色 (2) 言語の三分類	世界の言語の特徴と分類	予) 日本語と英語、中国語の違いとは?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第5週	日本語の特色 (3) 日本語の表記	文字と表記	予) 日本語にはどんな文字があるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第6週	日本語の特色 (4) 語彙の上から	擬態語と擬声語、方言	予) 擬態語・擬声語にはどのようなものがあるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第7週	修飾語	修飾語の係りかた	予) 日本語の修飾語の係り方の特徴は?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第8週	代名詞	指示代名詞と人称代名詞	予) 指示代名詞にはどのようなものがあるか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第9週	言語におけるジェンダー	男言葉と女言葉	予) 男言葉と女言葉の実例を考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第10週	文末表現と文体	文末決定性とそのルール	予) 文末の常体と敬体とはどのようなものか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第11週	敬語 (1)	敬語の3種と変換式敬語	予) どのような場合に敬語を使うか?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第12週	敬語 (2)	尊敬・謙譲・丁寧語の様々な言い方	予) 尊敬・謙譲・丁寧語の具体的な表現を考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第13週	敬語 (3)	ありがちな敬語の間違い	予) よくある敬語の間違いの具体例を考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第14週	敬語 (4)	敬語表現の誤文訂正問題演習	予) 自分がよく間違える敬語表現は?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第15週	まとめ	前期の授業内容のまとめと質疑応答	予) 疑問点の抽出(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第16週	期末試験		予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)	

日本語表現法基礎演習		(選択2単位) 1年後期		齋藤安輝
授業テーマ・内容 文章表現のための漢字、熟語、慣用表現など、語彙・文法力を中心とした基礎的な知識とテクニックを身につける。また、前期の「日本語表現法」で学んだことを基にして、実際に文章を作成する。 縦書きの手紙文、横書きのビジネスレターなど、毎回様々な文章作成や演習問題を課すので、各自積極的な受講態度が要求される。				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連 手紙やビジネス文書などの、書式の決まった文書を、敬語法を用いて正しい文章表現で作成できる。				
成績評価の方法・評価基準		テキスト		
期末試験	－%	キャリアアップ 国語表現法		
中間試験	－%	丸山顕徳編 嵯峨野書院		
小テスト	60%	参考書		
レポート	－%			
演習課題	20%			
平常点	20%			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック 随時課題を提出させ、添削・採点の上、返却・指導する。				
履修条件 日本語表現法を履修していることが望ましい		備考 必ず国語辞典携帯のこと。		
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	図書館ガイダンス	インターネットと図書館利用	予) CIT ネットへのログイン方法を確認しておく(2時間) 復) 図書館にログインしてみる(2時間)	
第2週	漢字の伝来	漢字の伝来と歴史	予) シラバスを読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第3週	漢字の音と訓	漢字の音訓の成り立ち	予) 音読みと訓読みの違いとは何か(2時間) 復) 演習問題の間違った箇所をやり直す(2時間)	
第4週	熟語の構造	元々中国語である熟語を理解する	予) 反対語・対義語の関係にある熟語の例を考える(2時間) 復) 演習問題の間違った箇所をやり直す(2時間)	
第5週	仮名遣いと送り仮名	仮名遣いと送り仮名のルール	予) 五十音図で同じ発音の文字はどれか(2時間) 復) 演習問題の間違った箇所をやり直す(2時間)	
第6週	手紙文(1)	手紙を書く上での諸注意、手紙文の構成	予) 「拝啓」「敬具」の意味は?(2時間) 復) 頭語結語の対応関係を覚える(2時間)	
第7週	手紙文(2)	手紙文の前文・末文の種類と文例	予) 身の回りの手紙文を読んでみる(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第8週	手紙文(3)	実際に手紙を書く	予) 授業日に合う時候の挨拶を考えておく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第9週	手紙文(4)	葉書文の書き方	予) 手紙と葉書の違いについて考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第10週	小テスト(1)	手紙文の作成テスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)	
第11週	ビジネス文書(1)	横書きの案内状の作成	予) 身の回りの案内状を読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第12週	ビジネス文書(2)	社外文書の作成	予) ビジネス文書の種類を調べておく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第13週	ビジネス文書(3)	社内文書の作成	予) 社外文書とどう違うか(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第14週	まとめ	ビジネス文書のまとめと質疑応答	予) ノートの整理と疑問点の抽出(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)	
第15週	小テスト(2)	ビジネス文書の作成テスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)	

英語表現法		(選択2単位) 1年前期		田村正一
授業テーマ・内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。 ・ 基本単語のコア(様々な使われ方)を理解し、英語活用能力を伸ばし、英語の世界のおもしろさを実感する。 ・ 英文法の基本的事項を復習し、「英語表現」の基礎作りをする。 ・ テレビ、ラジオの英語学習番組で使われる例文を用いて、実用的な英語を学習する。 ・ 英語の略語、ことわざなど、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。 ・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語、単語の定着を図る。 				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「英語表現」に必要な文法事項の基礎知識を習得する。 ・ 基本動詞を用いて、自分の考えを表現する方法を習得する。 ・ TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚える。 				
成績評価の方法・評価基準		テキスト		
期末試験	40%	【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】		
中間試験	—%	TEX 加藤 朝日新聞出版		
小テスト	40%	プリント教材を使用する。		
レポート	—%	参考書		
演習課題	—%	各自の英和辞典等を活用する。		
平常点	20% (授業中の活動、課題提出など)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック				
毎時行う小テスト等における誤りの多い問題を中心に行う。				
履修条件				備考
授業の構成上、後期「英語表現法基礎演習」と合わせて履修登録するのが望ましい。				
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	テスト及びオリエンテーション	確認テスト、授業内容・ねらい等の説明	予)シラバスに目を通し、授業概要を把握しておくこと(2時間) 復)説明のあった授業概略を確認しておくこと(2時間)	
第2週	Lesson 1	①基本動詞(take)のコア	予)takeの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第3週	Lesson 2	②基本動詞(give)のコア	予)giveの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第4週	Lesson 3	③基本動詞(get)のコア	予)getの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第5週	Lesson 4	④基本動詞(have)のコア	予)haveの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第6週	Lesson 5	⑤基本動詞(make)のコア	予)makeの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第7週	Lesson 6	⑥基本動詞(be)のコア	予)beの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第8週	Lesson 7	⑦基本動詞(come, go)のコア	予)come, goの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第9週	Lesson 8	①似たもの動詞(look, see)のコア	予)look, seeの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第10週	Lesson 9	②似たもの動詞(say, tell)のコア	予)say, tellの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第11週	Lesson 10	③似たもの動詞(speak, talk)のコア	予)speak, talkの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第12週	Lesson 11	④似たもの動詞(listen, hear)のコア	予)listen, hearの使い方(辞書活用)(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第13週	Lesson 12	⑤似たもの動詞(push, press, pull, draw)のコア	予)push, press, pull, drawの使い方(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第14週	Lesson 13	⑥似たもの動詞(fall, drop, clear, clean)のコア	予)fall, drop, clear, cleanの使い方(2時間) 復)プリント内容の定着(2時間)	
第15週	復習	Lesson 1～13の復習、期末試験対策	予)これまでの内容の復習(2時間) 復)期末試験対策の確認(2時間)	
第16週	期末試験	Lesson 1～13の内容、各小テストより		

英語表現法基礎演習		(選択2単位) 1年後期		田村正一
授業テーマ・内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。 ・ 基本単語のコア(様々な使われ方に共通する意味)を理解し、英語活用能力を伸ばし、英語の世界のおもしろさを実感する。 ・ 各授業に演習(問題演習、小テスト等)を取り入れ、単語、熟語の定着を図る。 ・ 比喩表現、ビジネス連語、会話表現など身近な英語に慣れる。 				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意味の似た動詞(carryとbringなど)を2語ずつ取り上げて、意味の違いを考えながら、使い分ける力を養う。 ・ 基本的な前置詞(in,on,at,for,from,by,withなど)を使い分ける力を養う。 ・ TOEIC L&R に出てくるビジネス連語、会話表現、単語熟語を覚える。 				
成績評価の方法・評価基準		テキスト		
期末試験	40%	【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】		
中間試験	—%	TEX 加藤 朝日新聞出版		
小テスト	40%	プリント教材を使用する。		
レポート	—%	参考書		
演習課題	—%	各自の英和辞典等を活用する。		
平常点	20% (授業中の活動、課題提出など)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック				
毎時行う小テスト等における誤りの多い問題を中心に行う。				
履修条件		備考		
授業の構成上、前期「英語表現法」と合わせて履修登録するのが望ましい。				
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	テスト及び オリエンテーション Lesson 1	確認テスト、授業内容・ねらい等の説明 ⑦似たもの動詞(carry, bring)のコア	予) シラバスに目を通し、授業概要を把握しておく。carry, bring の使い方(2時間) 復) 説明のあった授業概略の確認 プリント内容の定着(2時間)	
第2週	Lesson 2	⑧似たもの動詞(turn, change)のコア	予) turn, change の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第3週	Lesson 3	⑨似たもの動詞(work, operate)のコア	予) work, operate の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第4週	Lesson 4	⑩似たもの動詞(close, shut)のコア	予) close, shut の使い方(辞書使用)(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第5週	Lesson 5	①時を表す前置詞(in, on, at)のコア	予) in, on, at の使い方(辞書使用)(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第6週	Lesson 6	②時を表す前置詞(after, before, until, by)のコア	予) after, before, until, by の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第7週	Lesson 7	③時を表す前置詞(since, from, for, during)のコア	予) since, from, for, during の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第8週	Lesson 8	④場所を表す前置詞(on, above, over, by, near)のコア	予) on, above, over, by, near の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第9週	Lesson 9	⑤場所を表す前置詞(to, for, between, among)のコア	予) to, for, between, among の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第10週	Lesson 10	⑥その他の前置詞(for, by, behind)のコア	予) for, by, behind の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第11週	Lesson 11	⑦その他の前置詞(with, over, about)のコア	予) with, over, about の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第12週	Lesson 12	①形容詞(good, right, bad, wrong)のコア	予) good, right, bad, wrong の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第13週	Lesson 13	②形容詞(high, tall, low, short)のコア	予) high, tall, low, short の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第14週	Lesson 14	③形容詞(big, large, little, small)のコア	予) big, large, little, small の使い方(2時間) 復) プリント内容の定着(2時間)	
第15週	復習	Lesson 1～14の復習、期末試験対策	予) これまでの内容の復習(2時間) 復) 期末試験対策の確認(2時間)	
第16週	期末試験	Lesson 1～14の内容、各小テストより		

英語特別演習		(選択2単位) 1年後期		田村正一
授業テーマ・内容				
<ul style="list-style-type: none"> TOEIC L&R の演習を取り入れ、総合的な英語力の向上を目指す。 4年制大学編入学試験及び大学における英語の授業対策を主たる目的とする。 科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を学習し、科学技術の英語に対する理解を深める。 				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連				
<ul style="list-style-type: none"> TOEIC L&R において、各自が実力を発揮できるよう、リスニング、リーディングに力を入れる。 英語の基礎知識を整理すると共に、これまでの文法事項を復習し、全体的な英語力の向上に努める。 科学系の小論文でよく使われる英語構文、語彙を習得する。 				
成績評価の方法・評価基準			テキスト	
期末試験	50%		【TOEIC L&R 出る単特急、銀のフレーズ】	
中間試験	—%		TEX 加藤 朝日新聞出版	
小テスト	30%		プリント教材を利用する。	
レポート	—%		参考書	
演習課題	—%			
平常点	20%			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック				
TOEIC L&R 出る単特急、銀のフレーズの小テスト及び単語・熟語小テスト等における誤りの多い問題を中心に行う。				
履修条件			備考	
授業計画				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	オリエンテーション Lesson 1	授業内容・ねらい等の説明 TOEIC 練習問題、編入試験過去問	予)シラバスに目を通し、授業概要を把握しておくこと(2時間) 復)説明のあった授業概略を確認しておくこと(2時間)	
第2週	Lesson 2	TOEIC 練習問題 過去問1	予)TOEIC 問題集 Ch1 の練習問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第3週	Lesson 3	TOEIC 練習問題 長文1	予)TOEIC 問題集 Ch1 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第4週	Lesson 4	TOEIC 練習問題 過去問2	予)TOEIC 問題集 Ch2 の練習問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第5週	Lesson 5	TOEIC 練習問題 科学技術の英語1	予)TOEIC 問題集 Ch2 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第6週	Lesson 6	TOEIC 練習問題 過去問3	予)TOEIC 問題集 Ch3 の練習問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第7週	Lesson 7	TOEIC 練習問題 長文2	予)TOEIC 問題集 Ch3 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第8週	Lesson 8	TOEIC 練習問題 科学技術の英語2	予)TOEIC 問題集 Ch4 の練習問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第9週	Lesson 9	TOEIC 練習問題 過去問4	予)TOEIC 問題集 Ch4 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第10週	Lesson 10	TOEIC 練習問題 長文3	予)TOEIC 問題集 Ch5 の練習問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第11週	Lesson 11	TOEIC 練習問題 過去問5、科学技術の英語3	予)TOEIC 問題集 Ch5 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第12週	Lesson 12	TOEIC 練習問題 長文4	予)TOEIC 問題集 Ch6 の練習問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第13週	Lesson 13	TOEIC 練習問題 過去問6、科学技術の英語4	予)TOEIC 問題集 Ch6 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第14週	Lesson 14	長文5、科学技術の英語5	予)TOEIC 問題集 Ch7 の章末問題(2時間) 復)語彙・構文等の定着(2時間)	
第15週	復習	Lesson 1～14 の復習、期末試験対策	予)これまでの内容の復習(2時間) 復)期末試験対策の確認(2時間)	
第16週	期末試験	Lesson 1～14 内容を限定して出題		

保健体育 I		(選択1単位) 1年前期		村上弘一、羽田信子*																													
授業テーマ・内容																																	
<p>(実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い、心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。</p> <p>(講義) 社会生活を営む上での基本的な条件である健康の認識を高め、一般社会人としての保健・体育に関する深い理解と高い見識を養うことを目的とする。又、社会生活を営む上で、何らかの事故、災害に遭遇した場合、適切な処置ができるように救急法を取り入れ知識と技術を習得する。</p>																																	
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連																																	
<p>(実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することを目標とする。</p> <p>(講義) 緊急時に必要な救助や手当てができるように、正しい救急法の知識と技術を身に付けることを目標とする。</p>																																	
成績評価の方法・評価基準			テキスト																														
<table border="1"> <tr> <td>実技</td> <td>講義</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td>－%</td> <td>期末試験</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>中間試験</td> <td>－%</td> <td>中間試験</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td>40%</td> <td>小テスト</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>－%</td> <td>レポート</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>演習課題</td> <td>－%</td> <td>演習課題</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>60%</td> <td>平常点</td> <td>20%</td> </tr> </table>			実技	講義			期末試験	－%	期末試験	80%	中間試験	－%	中間試験	－%	小テスト	40%	小テスト	－%	レポート	－%	レポート	－%	演習課題	－%	演習課題	－%	平常点	60%	平常点	20%	プリント教材使用 ワークシート配布 参考書		
実技	講義																																
期末試験	－%	期末試験	80%																														
中間試験	－%	中間試験	－%																														
小テスト	40%	小テスト	－%																														
レポート	－%	レポート	－%																														
演習課題	－%	演習課題	－%																														
平常点	60%	平常点	20%																														
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック																																	
履修条件				備考																													
救急法は消防士による講習で(普通救命講習Ⅰ)の資格取得ができる。 女子の体育種目は男子との兼ね合いにより多少変更がある。 施設・天候等により女子はダンスを行う時がある。																																	
授業計画																																	
週	単元	内容	予習/復習																														
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおく。(0.5時間) 復)授業の進め方、考え方を理解しておくこと。(0.5時間)																														
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)体調を整えておくこと(0.5時間)																														
第3週	硬式テニス	フォアハンドの練習 簡易ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第4週	〃	バックハンドの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第5週	〃	ボレー、スマッシュ、サーブ ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.55時間)																														
第6週	〃	ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第7週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第8週	バスケットボール	パスの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第9週	〃	シュートの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第10週	〃	セットプレーの練習 ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第11週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第12週	保健体育	概論 健康のとらえ方	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第13週	救急法	普通救命講習Ⅰ、Ⅱ(DVDによる学習)	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第14週	救急法(一次救命処置)	心肺蘇生実技	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第15週	応急手当	日常的な応急手当	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)																														
第16週	期末試験																																

保健体育Ⅱ		(選択1単位) 1年後期		村上弘一、羽田信子*	
授業テーマ・内容					
<p>(実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活に於けるリーダーとしての資質を養い心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。</p> <p>(講義) 社会生活を営むうえで基本的な健康の認識を高め、一般社会人としての保健・体育に関して深い理解と高い見識を養うことを目的とする。又、何らかの事故・災害に遭遇した場合、適切な処置ができるように救急法を取り入れて知識と技術を習得する。</p>					
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連					
<p>(実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することを目標とする。</p> <p>(講義) 生涯スポーツのあり方、及びとらえ方を学習し、一生涯出来る種目を見つけることを目標とする。</p> <p>又、緊急時に必要な救助や手当が出来るように、正しい救急法の知識と技術を身に付けることを目標とする。</p>					
成績評価の方法・評価基準				テキスト	
実技		講義		プリント教材使用 ワークシート配布	
期末試験	－%	期末試験	80%	参考書	
中間試験	－%	中間試験	－%		
小テスト	40%	小テスト	－%		
レポート	－%	レポート	－%		
演習課題	－%	演習課題	－%		
平常点	60%	平常点	20%		
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック					
履修条件				備考	
女子の体育種目は男子との兼ね合いにより多少変更がある。 施設・天候等により女子はダンスを行う時がある。					
授業計画					
週	単元	内容		予習/復習	
第1週	ガイダンス	授業の概要説明		予)シラバスをよく読んでおく。(0.5時間) 復)授業の進め方、考え方を理解しておくこと。(0.5時間)	
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング		予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)体調を整えておくこと。(0.5時間)	
第3週	サッカー	パス、シュートの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第4週	〃	ドリブルの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第5週	〃	セットプレーの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第6週	実技テスト	実技テスト ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第7週	バレーボール	パス、サーブの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第8週	〃	スパイクの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第9週	実技テスト	実技テスト ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第10週	バドミントン	サーブ・ハイクリーアの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第11週	〃	スマッシュの練習 ゲーム		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第12週	体育理論	人間にとって動くとは何か		予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第13週	現代社会と健康	ストレスへの対処		予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第14週	運動スポーツの学び方	運動やスポーツでの安全確保・体力トレーニング		予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第15週	生涯スポーツの考え方	ライフステージに応じたスポーツ		予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)	
第16週	期末試験				

地域産業学		(選択1単位) 1年前期の定められた期間		学長・学科長他
授業テーマ・内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・阪神地域の産業の特色や産業発展の流れを踏まえ、地域の産業や企業の概要を把握する。 ・工学と産業との関係を多面的に理解し、教養科目、専門科目で修得する内容が、実際の産業活動の中でどのように役立つかを理解し、工学全般についての関心を高める。 ・工場見学により、企業活動の状況や産業施設設備を自分の目で確認し、企業の役割、企業の抱える課題、企業の発展のための方策、企業で働く人に求められる素養、知識、心構え等について考える。 ・経営者、関係行政機関の協力も得て、地域産業が抱える課題、発展の道筋などを把握するとともに、グループ討議等を通じて地域産業界が抱える問題に主体的に取り組む。 				
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連				
<p>地域の産業、企業の活動状況に関心をもち、理解を深めるとともに現場で活用されている技術や設備と工学との関係、産業人に求められる教養、専門知識等を理解し、短期大学での学習意欲を高めるとともに、工場見学や企業経営者等による講演に基づく、グループ討議、プレゼンテーションを通じて、問題の発見と整理、問題解決力や発信能力等の向上を図る。</p> <p>これらを通じて技術者に必要とされる教養や専門の応用能力、自ら考え行動できる能力、コミュニケーション能力を身につけさせるとともに自分の進路選択についても積極的に取り組む力を涵養する。</p>				
成績評価の方法・評価基準			テキスト	
期末試験	—%		教科書は使用しない。	
中間試験	—%		必要に応じてプリント資料を配布する。	
小テスト	—%		参考書	
レポート	50%			
演習課題	—%			
プレゼン	50%			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック				
履修条件			備考	
日頃から地域産業や企業の動向について関心をもち、新聞報道や企業のホームページ等で産業や企業の動向に関心を持つことが望まれる。			担当教員は通商産業省(現経済産業省)での実務経験を保有し、学術・技術団体の運営にも携わり、産業界の事情に通じている。こうした実務経験を踏まえて、地域産業と短期大学での工学教育との関わり合い等について授業を行う。	
授業計画				
工場見学は受け入れ先企業との調整により、実施日を決定する。それに合わせて、1,2,3回目の授業実施日を決定する。6,7,8,9回目の授業は、8月8日(木)に予定している集中授業により実施する。				
週	単元	内容	予習/復習	
第1回目	ガイダンス	地域産業学のねらいと実施計画	予) シラバスの熟読(約1時間) 復) 配布された資料の確認(約1時間)	
第2回目	地域産業の特色と発展史	阪神地区の産業の特色と発展の歴史について概説する	予) 阪神地区の産業について調べる(約1時間) 復) 配布された資料の確認(約1時間)	
第3回目	工場見学準備	工場見学対象企業についての研究、見学の際の安全教育	予) 見学対象企業について調べる(約1時間) 復) 配布された資料の確認(約1時間)	
第4回目	工場見学Ⅰ(実施)	地域企業Ⅰの工場見学を行い、実施後にレポートを提出する。	予) 見学対象企業について調べる(約1時間) 復) レポートを作成し、提出する(約1時間)	
第5回目	工場見学Ⅱ(実施)	地域企業Ⅱの工場見学を行い、実施後にレポートを提出する。	予) 見学対象企業について調べる(約1時間) 復) レポートを作成し、提出する(約1時間)	
第6回目	工場見学 総括	工場見学レポートに基づき、指導教員とともにグループ討議を行い、見学工場の課題分析、解決策の検討を行う。検討結果をプレゼンテーションする。	予) 工場見学で感じた課題について整理しておく(約1時間) 復) グループ討議の内容、課題を整理する(約1時間)	
第7回目	地域産業実学Ⅰ	地域企業の経営者(または行政関係者)による講演を受け、レポートを作成する。	予) 地域の産業について調べる(約1時間) 復) レポートを作成し、提出する(約1時間)	
第8回目	地域産業実学Ⅱ	地域企業の経営者(または行政関係者)による講演を受け、レポートを作成する。	予) 地域の産業について調べる(約1時間) 復) グループ討議の内容をまとめる(約1時間)	
第9回目	地域産業実学演習	地域産業学の講演内容に基づき、指導教員とともにグループ討議を行う。グループ代表によるプレゼンテーションを行う。	予) 地域の課題を整理し、プレゼンの練習を行う(約1時間) 復) プレゼンの反省、課題の整理を行う(約1時間)	